

# 弓術部



KUAKA HACHI  
HAKA-RO  
1924

1924(大正13年)・11 第1回都下大学高専弓道争覇戦優勝。和智師範(前列中央)と選手。



1928(昭和3年)・5・27 第2回慶早戦優勝記念。



1911(明治44年) 弓術部員。卒業生送別会か部員大会のものと思われる。前から2列目中央は初代師範若林正行氏。



1915(大正4年)・8・24 初代師範若林正行氏と二代師範北村明太郎氏。若林師範80歳の記念写真。



1928(昭和3年)・5・27 第2回慶早戦、綱町弓道場にて。(73中-53中にて本塾勝つ)



1935(昭和10年)・10・6 第12回都下学生弓道連盟争覇戦優勝。前列右より4人目は桂師範。



1936(昭和11年)・10・18 第13回都下学生弓道連盟争覇戦優勝。



1937(昭和12年)・5・16 第11回慶早戦優勝記念。



1937(昭和12年)・11・3 第8回明治神宮国民体育大会、学生弓道の部優勝。前列左より桂師範、井坂、後列左より成田、中島、間野の選手。



1940(昭和15年)・5・19 第14回慶早戦優勝記念。



1941(昭和16年)・10・17 第18回都下学生弓道連盟争覇戦優勝。



1942(昭和17年)・8 第12回全国学生弓道選手権大会優勝記念。綱町道場にて写す。



1952(昭和27年)・11・16 都下学生弓道リーグ戦優勝祝賀会。三田山上学生ホールにて。前列左から4人目は石丸体育会理事。



1952(昭和27年)・11・27 都下学生弓道連盟リーグ戦に優勝したので、潮田塾長より監督OB選手が、塾長公舎に招待された。前から2列目中央は潮田塾長。



1961(昭和36年)・11・26 全日本学生弓道王座決定戦優勝。豊橋市において。

1966(昭和41年)・2・27 慶應義塾体育会弓術部、三田綱町道場お別れパーティー。明治38年移築竣工以来の道場が首都高速道路着工のため、取り壊されることになった。



1966(昭和41年)・10・2 志正弓道場竣工、道場抜き。前から2列目向かって左より照井主事、桂師範、石川常任理事、生田体育会理事、小山三田弓友会長。



1961(昭和36年)・12・6 東京都学生弓道リーグ戦、全日本学生王座決定戦優勝祝賀会。三田山食において。前列から左6人目より小山弓友会長、堀井弓術部長、石川体育会理事、桂師範、来島弓友会副会長。



1980(昭和55年)・6・14 第10回全関東学生弓道選手権大会、女子団体優勝、女子個人優勝。日本武道館において。写真は今泉直子本塾女子主将。



1980(昭和55年)・6・14 第10回全関東学生弓道選手権大会、女子団体優勝、女子個人優勝。日本武道館において。表彰を受ける今泉直子本塾女子主将。



1984(昭和59年)・6・17 第14回全関東学生弓道選手権大会優勝。日本武道館において、本塾チーム6名。

1985(昭和60年)・8・3 第33回全日本学生弓道選手権大会、団体優勝、個人優勝。神戸市中央体育館において。前より5名本塾チーム。



### 第33回全日本学生弓道選手権大会



1985(昭和60年)・8・3 第33回全日本学生弓道選手権大会優勝。神戸市中央体育館において。



1985(昭和60年)・8・17 全日本学生弓道選手権大会優勝祝賀会。銀座第一ホテル・ルミエール。写真は選手。

1892 創部。「弓術部記事 遠藤猶三郎誌  
我慶應義塾二見ル所アリ ス二明治 25 年  
早春体育会ナルモノヲ設置シ 分チテ 8 部ト  
ス(原文のまま)弓術部ハ即チ其一ニシテ同  
年 5 月部長ヲ推選シ幹事 5 名ヲ票定セリ 即  
チ左之如シ 部長雨山達也 幹事奥田竹奈  
上野竹次郎 会計藤鶴市 寺師良介 記事遠  
藤猶三郎 部長及幹事相協議シテ本部ノ部則  
ヲ制定ス(略)右役員 部則ノ完成セシト共  
ニ弓術場ノ設置ニ着手シ同年 6 月中旬エヲ竣  
ヘタリ(稲荷山の下で福澤邸の下谷間の盆  
地と思われる)体育会基本金ヨリ弓十挺、矢百  
筋 弓掛八箇ヲ購フテ本部用ニ充ツ 若林正  
行氏ヲ雇聘シテ本部教師トス 25 年 6 月 25  
日(土曜日)発会式ヲ挙フ 前以テ廣告シテ  
弓術心得アル者ヲ撰ヒ当日金の射割ヲ射セシ  
ム 来会者部長諸教師及生徒六十余名 午後  
1 時ヨリ始ム 同 3 時頃ニ至テ一同二茶菓ヲ  
餐シ午後 5 時頃退散(以下略)」

1895 ビッカース・ホール横に道場を移転す  
る。  
1898・6・19 第1回部員大会開催。学則の  
変更により、卒業生送別射割会に代えて春秋  
大会を行うことにする。/11・19 秋季大会。  
部員1等に銀杯を授ける。  
1899・2・4 月次射割会。毎月第1土曜に  
行うことに決定。  
1901 対東京専門学校戦、本塾勝つ。  
1902 第1回慶早戦。本塾敗れる。  
1904 綱町運動場に道場を移築。  
1905・2・19 道場抜き。  
1911・7~8 関西武者修行遠征。/10・27  
第1回慶明戦、67中-64中にて本塾敗れ  
る。/11・4 第1回対高等商業戦、71中-68  
中にて本塾勝つ。  
1912・5・5~6 当部道場創立 20 年祭を兼  
ねて師範奉職 20 年謝恩会を、当部綱町道場  
にて開催。

1917 第1回関西遠征。  
1924・11・23 第1回都下大学高専弓道連盟  
争覇戦、優勝。  
1926・4・25 第1回三田稲門戦、三田方敗  
れる。  
1928・7 第5回関西遠征を行い、7 戦全  
勝。  
1934・12・2 日吉弓道場竣工披露。  
1935・10・6 第12回都下学生弓道連盟争覇  
戦、優勝。  
1936・10・18 第13回都下学生弓道連盟争覇  
戦、優勝。  
1937・11・3 第8回明治神宮国民体育大会  
学生弓道の部、優勝。  
1940・3・21 第1回全早慶明遠征大会開  
催、本塾優勝。/11・3 第11回明治神宮国民  
体育大会学生弓道の部、優勝。  
1941・10・17 第18回都下学生弓道連盟争覇  
戦、優勝。



1986(昭和61年)・11・22 全日本学生弓道王座決定戦優勝。伊勢神宮において。写真は選手と学生、OB。



1986(昭和61年)・12・13 東京都学生弓道リーグ戦、全日本学生弓道王座決定戦優勝祝賀会。京王プラザホテル・ブッフュ珊瑚。写真は選手、監督、マネージャー。



1986(昭和61年)・11・21～22 東京都学生弓道リーグ戦に優勝した本塾は、全日本学生弓道王座決定戦に出場、伊勢神宮弓道場において各地区の強豪と対戦し、トーナメントでこれをことごとく破って優勝した。

1942・6・14 第12回全国学生弓道選手権大会、優勝。

1945・11 進駐軍命令により、武道が学校教育の教材より追放される。

1948・4・25 慶應義塾アーチェリークラブ発会式。標記の看板を掲げ、進駐軍の査察を受けた時だけ、洋弓を弯いて見せた。／6・23 昭和23年度春季都下学生弓道リーグ戦、優勝。／11・28 昭和23年度秋季都下学生弓道リーグ戦、優勝。

1951・7・25 弓道が学内追放解除となる。／9・19 弓術部が体育会に復活。

1952・11・6 昭和27年度都下学生弓道連盟リーグ戦、優勝。

1953・5 全日本学生弓道連盟結成。

1955・6・12 第5回東京都学生弓道連盟団体選手権大会、優勝。

1958・4・20 日吉新弓道場竣工披露。進駐軍の日吉接収中に喪失した弓道場が再建され

た。

1959・7 弓術部に「洋弓研究班」を設立。

1961・1・14 東京都学生弓道連盟に女子部が新設され、本塾もこれに参加。／6・18 第4回東京都学生弓道連盟新人戦トーナメント、優勝。／11・19 昭和36年度東京都学生弓道連盟リーグ戦、優勝。／11・26 全日本学生弓道王座決定戦、優勝。

1963・5・12 第6回東京都学生弓道連盟新人戦トーナメント、優勝。

1966・2・27 綱町弓道場お別れパーティーを開催。明治38年移築竣工の綱町道場が、首都高速道路工事のため取り壊されることになった。／10・2 志正弓道場竣工披露。

1980・6・14 第10回全関東学生弓道選手権大会、女子団体、女子個人優勝。

1981・11・28 第100回三田稲門陣前夜祭。／11・29 第100回三田稲門戦、三田方敗れる。

1982・4・1 弓術部より洋弓班が、洋弓部として分離独立した。／5・29 三田アーチェリークラブ発会式。

1983・5・8 第30回全早慶明遠の大会、本塾優勝。

1984・6・17 第14回全関東学生弓道選手権大会、優勝。

1985・5・17 東京都学生弓道女子新人戦、優勝。／8・3 第33回全日本学生弓道選手権大会、優勝。

1986・11・19 昭和61年度東京都学生弓道リーグ戦、優勝。／11・22 全日本学生弓道王座決定戦、優勝。

1988・1・23 日吉弓道場の大幅な改修が竣工、道場披露が行われ、藤沢弓術部長が「禮記」より「稷蓬弓道場」と撰名された。／5・17 東京都学生弓道女子新人戦、優勝。

1991・5・24 東京都学生弓道連盟新人戦トーナメント、優勝。